

【茨城南支部・茨城県連合支部】

高エネルギー加速器研究機構（KEK）見学会

茨城南支部・連合支部では、9月7日（土）につくば市にある高エネルギー加速器研究機構（KEK）の見学会を催しました。

KEK は我が国の加速器科学の統合的発展の拠点として研究を推進し、国内外の関連分野の研究者に対して研究の場を提供することを目的として昭和46年に設置されたものです。キャンパスは広大で、研究施設間をバスで移動します。加速器は地下11m、一周約3Kmのトンネル内に設置されているため巨大な地下道を歩きましたが、地上からは想像できない大規模な実験施設で圧倒されました。中核施設である SuperKEKB 加速器は、電子や陽電子などの粒子を光の速度近くまで加速して高いエネルギーの状態を作り出し、衝突させて生成される B 中間子等を含む反応を研究することにより今まで観測されていなかった物理現象を発見することを目的としており、ノーベル物理学賞につながった小林・益川理論を実証したとのこと。

当日は一般公開日のため賑わっており、厳しい残暑の中、参加者全員が新しい知見を得ることができ、久しぶりにワクワクした見学でした。なお、昼食を近くの割烹料理店でとり、懇親を深めました。

（行事担当：設楽 徹 47M）



吉田，江黒，設楽，上方，細野，栗原，鈴木，中村，福島